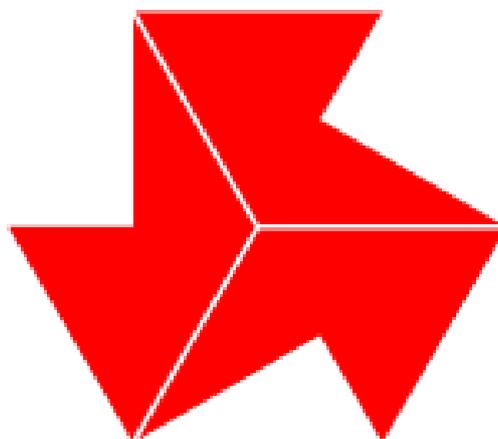


平成26年度 全九州高等学校体育大会
第20回 全九州高等学校フェンシング競技大会

実施要項



2014

主催	九州高等学校体育連盟 長崎県教育委員会
後援	公益財団法人長崎県体育協会 諫早市教育委員会 九州フェンシング協会
主管	長崎県高等学校体育連盟 長崎県フェンシング協会

1. 期日・会場

(1) 開会式

日 時 平成26年6月20日(金) 16:00～
会 場 諫早商業高等学校
〒854-0061
長崎県諫早市宇都町8-26
TEL 0957-26-1303

(2) 競 技

日 時 平成26年6月21日(土) 9:00～
・個人対抗 男子・女子 [フルーレ・エペ・サーブル]
平成26年6月22日(日) 9:00～
・学校対抗 男子・女子 [フルーレ]
会 場 諫早商業高等学校 体育館
〒854-0061
長崎県諫早市宇都町8-26
TEL 0957-26-1303

(3) 閉会式

日 時 平成26年6月22日(日) 競技終了後
会 場 諫早商業高等学校 体育館

(4) 諸会議

会 議 名	日 時	会 場
専門委員長会議	6月20日(金) 13時	諫早商業高等学校 北斗寮 〒854-0061 長崎県諫早市宇都町8-26 TEL 0957-26-1303 FAX 0957-26-4689
技術委員会 審判会議	6月20日(金) 14時	
監督会議	6月20日(金) 15時	

2. 競技規則・方法

(1) 競技規則 平成26年度(公社)日本フェンシング協会試合規則に準じ、一部(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部の申し合わせ事項を適用する。

(2) 競技方法

①学校対抗

- (ア) 全試合電気用具を使用する。
- (イ) トーナメント方式とする。
- (ウ) 1チームは5人編成とし、3名による総当たりとする。
- (エ) 男子・女子とも3分間(実働)5本勝負とする。

②個人対抗

- (ア) フルーレ・エペ・サーブルとも全試合電気用具を使用する。
- (イ) フルーレ・エペ・サーブルともプール方式とトーナメント方式の混合方式とする。
- (ウ) プール方式では、男子・女子とも3分間（実働）5本勝負とし、トーナメント方式では、男子・女子とも3分間（実働）3セット（セット間の休憩は1分）15本勝負とする。ただし、例外として、サーブルの第1セットは3分間（実働）が経過した場合か、または、一方の選手が8本を取った時点で行う。

3. 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入していることを条件とする。
- (3) ただし、各県において規定が定められ、引率・監督がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

4. 参加資格

- (1) 参加者は各県高等学校体育連盟に加入している生徒で、本競技実施要項により九州大会の参加資格を得たものに限る（1位から順次出場させる）。
- (2) 平成26年5月末日までに（公社）日本フェンシング協会に選手登録を完了した者。
- (3) 平成7年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場回数は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準じる）。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例による学校の参加については、全九州高等学校体育大会開催基準要項のとおりとする。

5. 参加制限

- (1) 学校対抗
 - 各県、男子・女子とも監督1名・選手5名以内の1チームとする。
- (2) 個人対抗
 - ① フルーレは、各県とも男子・女子とも4名以内とする。
 - ② エペ・サーブルは、各県とも男子・女子とも2名以内とする。
 - ③ 1人2種目以内とするが、エペ・サーブルの2種目に参加することはできない。
- (3) 外国人留学生の参加については、団体は規定人員のうち1名まで、個人は種目に関係なく1校につき、男子・女子とも1名までのエントリーを認める。

6. 参加申込

- (1) 申込方法 所定の参加申込書により3部作成し、各県高等学校体育連盟競技専門部で取りまとめ、1部は所属高等学校体育連盟控えとし、2部を送付すること。申込後の変更は一切認めない。また、参加申込の電子データを下記に示すメールアドレスまで電子メールで送信すること。

(参加申込書データ 送り先 sasada_fencing@yahoo.co.jp)

(2) 郵送先

宛先	郵送書類	参加料
〒854-0061 長崎県諫早市宇都町8-26 長崎県立諫早商業高等学校 笹田 健一 宛 TEL 0957-26-1303 FAX 0957-26-4689	参加申込書 2部 宿泊申込書 2部	振り込み

- (3) 申込締切日 平成26年6月11日(水)

※ 個人情報の取扱いに関して大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

7. 参加料

- (1) 団体 18,000円/チーム 個人 1,800円/人

- (2) 各県高等学校体育連盟競技専門部は、下記の銀行口座に振り込むこと。

銀行名	十八銀行諫早駅前支店
口座番号	普通 1019220
口座名義	ながさきけんこうたいれんふえんしんぐせんもんぶ 長崎県高体連フェンシング専門部 ぶちょう おかわら まゆみ 部長 岡村 真由美

8. 組み合わせ

長崎県高等学校体育連盟で行う。

9. 表彰

学校対抗・個人対抗とも3位までを表彰する。

10. 宿泊

- (1) 参加者の宿舎は大会事務局の指定する宿舎とする。宿舎の割当ては、大会事務局で決定し、各参加校に通知する。
- (2) 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、3部作成すること。なお、1部は所属高等学校体育連盟控えとし、2部を各県高等学校体育連盟競技専門部が取りまとめ、参加申込書に同封し送付すること。

- (3) 宿泊費は、1人当たり1泊2食7,500円(税・サービス料込み)とし、昼食弁当は600円(税込み)とする。
- (4) 宿泊決定後の宿泊人数の変更等については、当該校引率者が直接宿舎へ連絡を取り相互で確認すること。

11. 参加上の注意

- (1) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者で行う。
- (2) 参加選手は、必ず健康保険証を持参すること。
- (3) 開会式の服装は、クラブ用のジャージであれば自由とする。ただし、靴については開会式会場の規定に従うこと。

12. 連絡事項

- (1) 試合中の用具の破損は、選手の責任とする。なお、予備の用具を必ず準備し、試合に支障を来さないようにすること。
- (2) 用具検査は別記「用具検査留意事項」を参照の上、次の要領にて行う。
- ①検査対象は、剣・ボディーコード・メタルジャケット・マスク・電気サーブル用カフまたはグローブ・マスクケーブルとする。
- ②検査日時、検査項目、返却日を次のとおりとする。

月 日	受付時間	用 具	返却日時
6月20日(金)	13:00~16:00	マスク	即時返却
		マスク以外の用具	6月21日(土) 開館より返却
6月21日(土)	開館~試合終了	全用具	即時返却
6月22日(日)	開館~試合終了	全用具	即時返却

※ マスクは練習時の危険もあるため、早めに検査を受けること。

(3) 競技の服装

- ①上下衣、ストッキングは必ず白色とすること。特に、ストッキングは試合中に膝が出てこない長いもので、かつ、厚いものを着用すること。
- ②上衣の中には(FIE公認のユニフォームでも)必ず半袖付プロテクターを着用し、女子の選手は金属または固い材料でできている胸当てを両胸に着用し、その他の急所には十分な防備をすること。
- ③エペのユニフォームについては、そけい部を覆うオリンピック型を着用のこと。
- ④選手は頭髮に注意し、試合に支障の無いようにすること。特に、頭髮がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。
- ⑤ゼッケンを図1のように作製し、各自の後ろの足の腿の外側に必ず付けること。男子は白地に黒文字、女子は白地に赤文字で審判やピスト係が判読できるように記入すること。同一校に同姓のものがいる場合は、識別できるよう名を付けること。

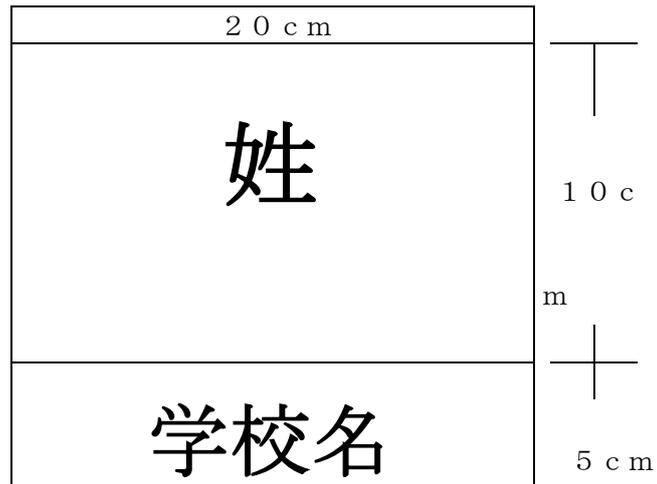


図 1

- (4) ベンチの入場者は、学校対抗においては監督及び登録選手とし、個人対抗においては監督及び個人出場選手とする。
- (5) 靴については競技会場・練習会場とも屋内用・屋外用必ず区別すること。また、屋内におけるサンダル等は許可しない。
- (6) 競技会場・練習会場とも剣で床を突かないこと。剣の曲がりを直す場合は、指示された場所で行うこと。

用具検査留意事項

1. 剣について下記の場合には許可しない。

(1) 剣身（ブレード）に錆の付着しているもの。

(2) ポイント・ガードの変形しているもの。

(3) 絶縁不良のもの。

① 剣先 15 cm の部分

② 金属製のヒルト

③ ポンメル

2. メタルジャケットについて

破れているもの、所定の電気抵抗値を超えているものは許可しない。

(特に縫い合わせて補修してあるもの、酸化しているもの等は予め点検しておくこと。)

3. ボディーコード等について

フルレ用のボディーコード及びサーブル用のマスクケーブルの鱗口クリップは 10 mm × 8 mm 以下のものは許可しない。

4. マスクについて

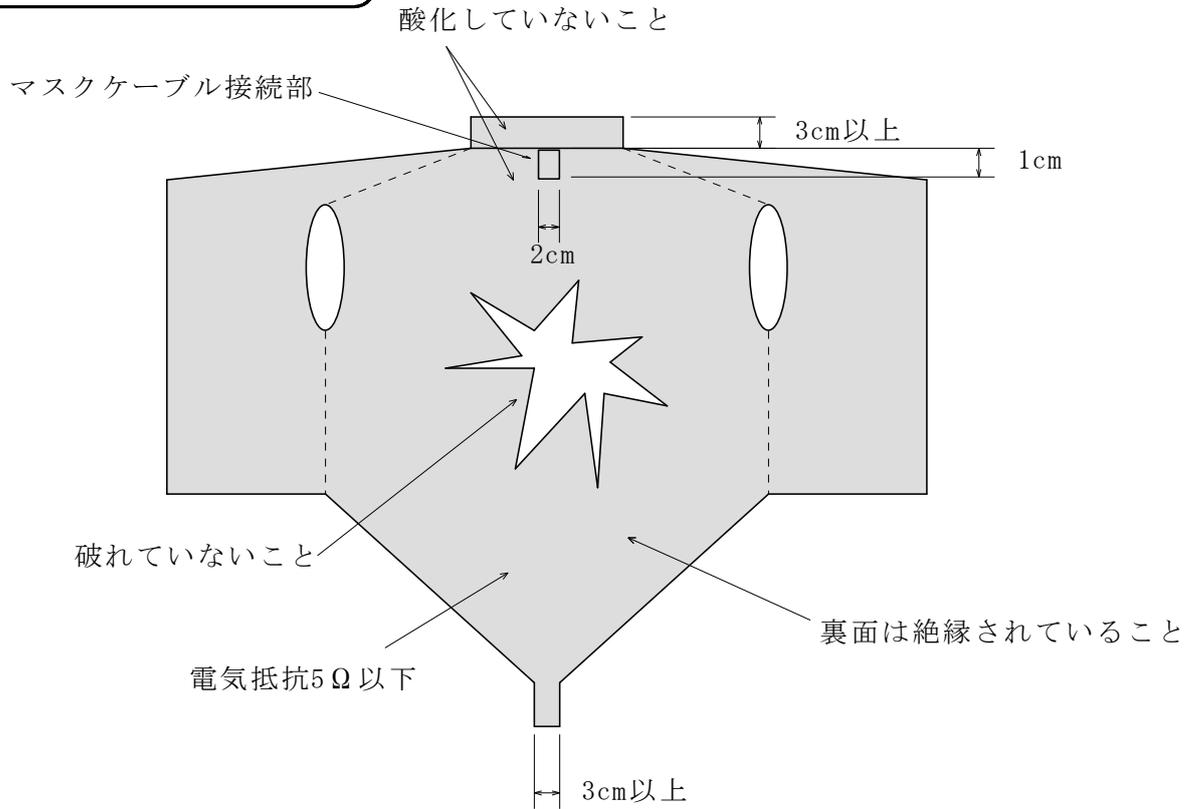
縫い目の腐食しているもの、バベットが老朽化し、腐食しているものやほころびているものは許可しない。(試合中、マスクが容易に脱落することがあってはならず、脱落防止のための処置が施されていること。)

5. 「用具検査留意事項(図解)」も併せて注意のこと。

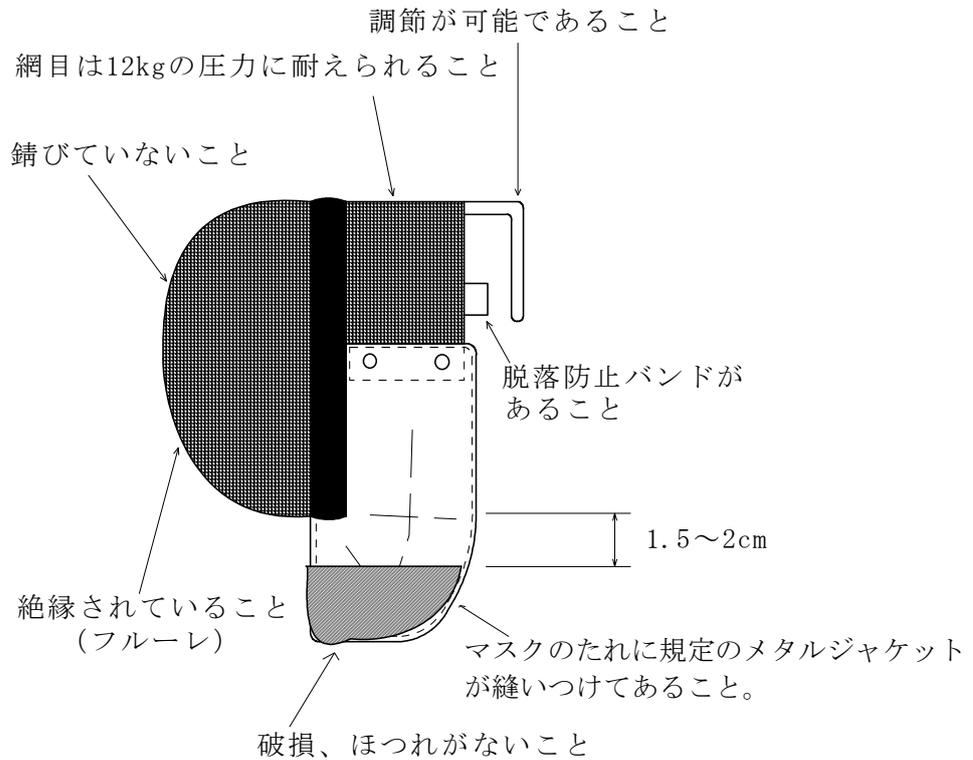
※ 練習中マスク無しでファイティング・レッスンを厳禁とする。

用具検査留意事項（図解）

メタルジャケット：フルーレ

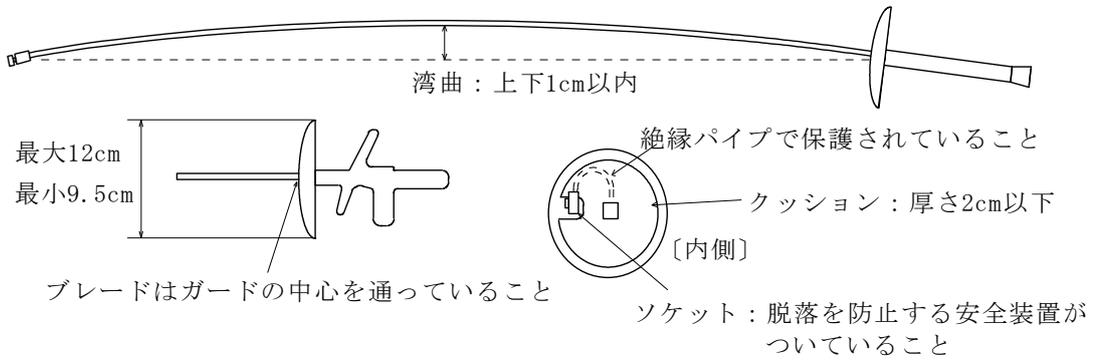
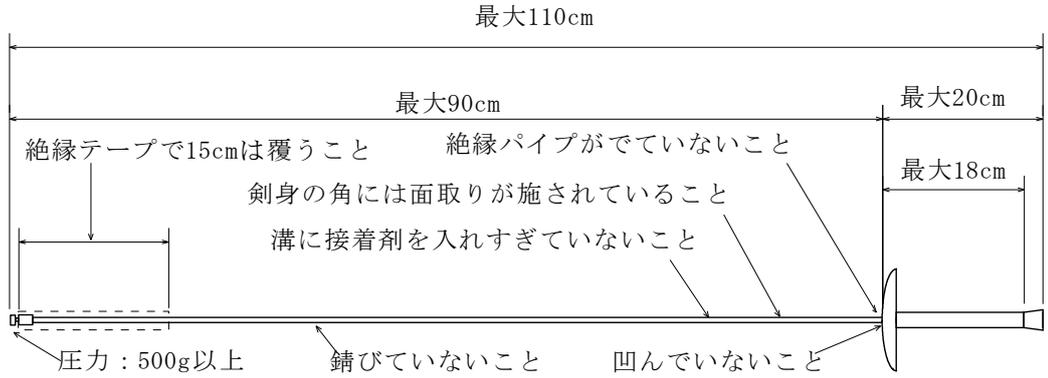


マスク：フルーレ



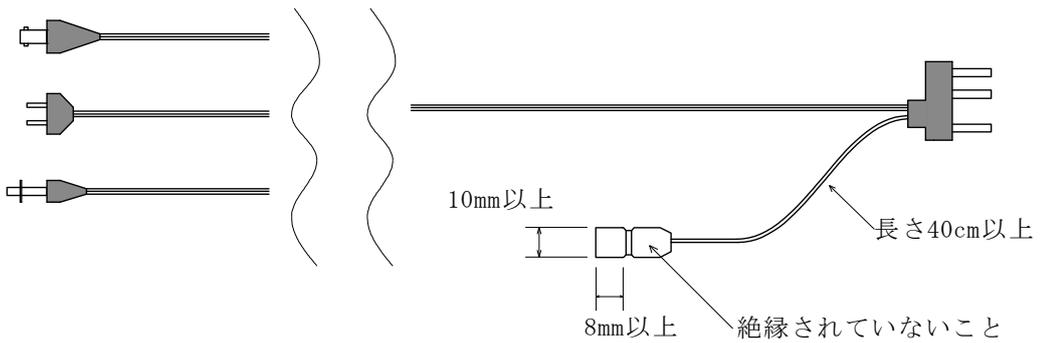
剣：フルーレ

全重量：500g以下

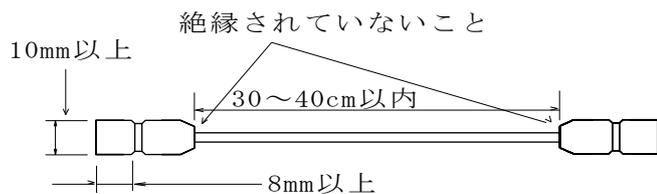


ボディーコード：フルーレ

※断線、短絡、接触不良がないこと

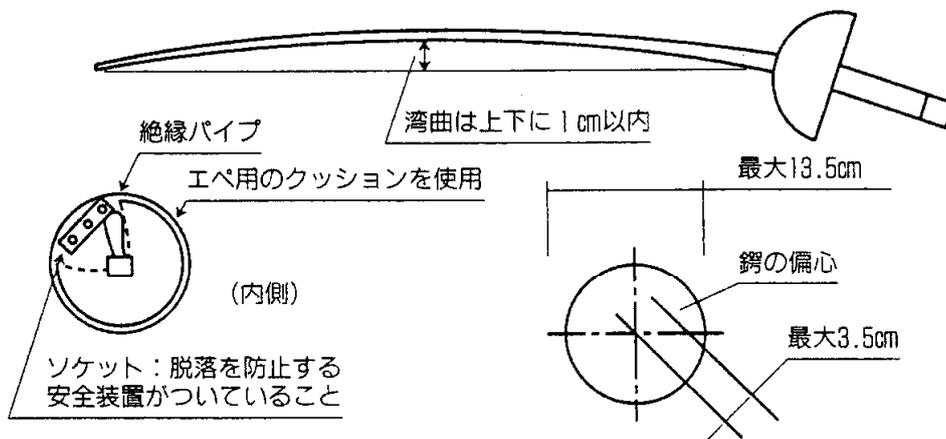
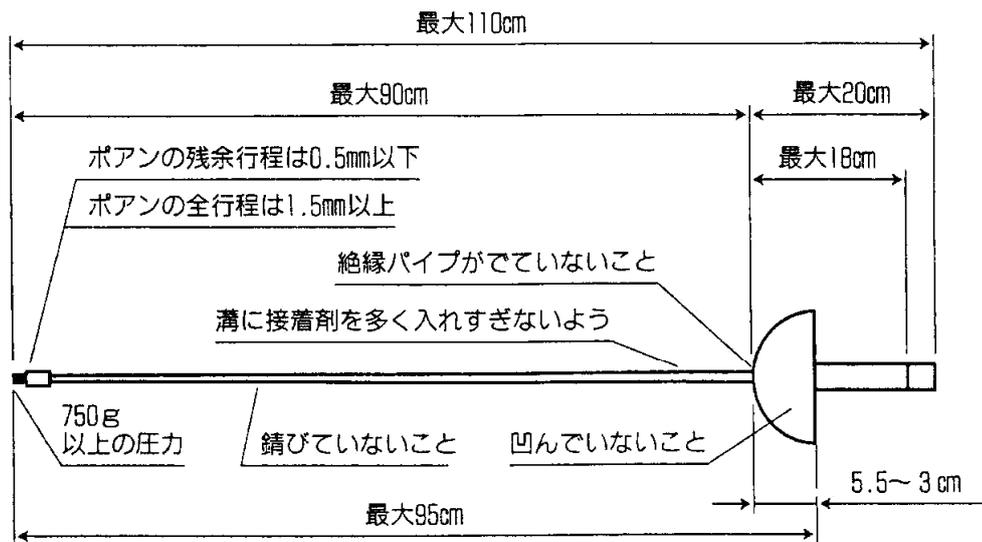


マスクケーブル：フルーレ



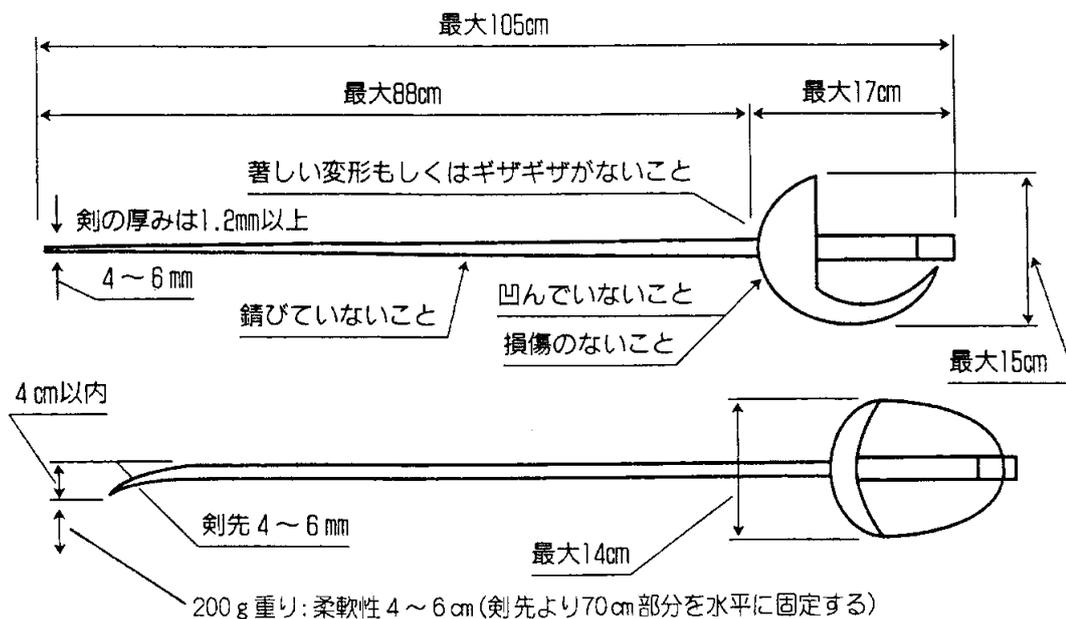
エペ:剣

重量：750g以下



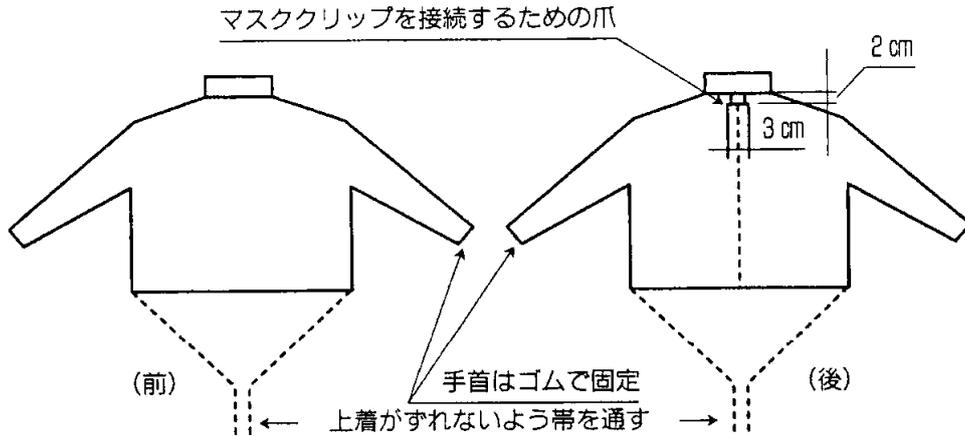
サーブル:剣

重量：500g

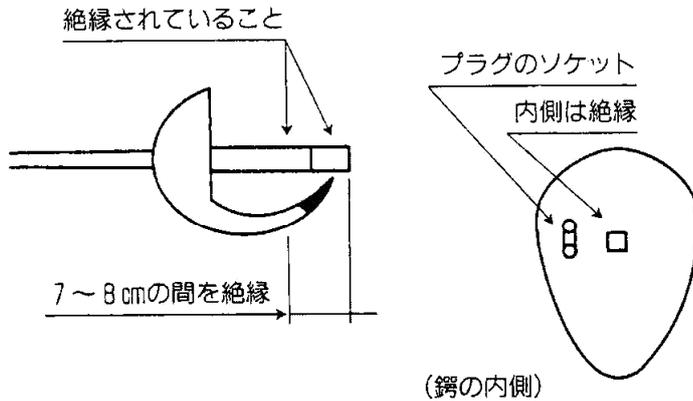


メタル・ジャケット:サーブル

※襟の高さ、酸化、破れ、抵抗、絶縁はフルーレに同じ。
メタルジャケットの閉じ方は有効面を完全に覆う為に重ね合わせ。

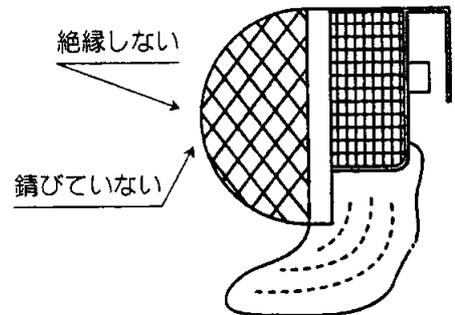


電気サーブル:剣



電気サーブル用:マスク

※バベットと附属部分は金属物質で覆われていること。
※鏑口グリップとマスクとの抵抗は5オーム以下。
※透明マスクを使用する場合は、シールドに傷がなく、製造されて2年以内のものであること。



電気サーブル:グローブ・カフ



電気サーブル:マスクケーブル

